

オーボエ：蠣崎 耕三

Kozo Kakizaki , OBOE



札幌市出身。1983年京都市立芸術大学音楽学部を首席で卒業。在学中第51回日本音楽コンクール管楽器部門入選。卒業の翌年DAADドイツ政府給費留学生としてミュンヘン音楽大学へ留学。留学中にはヨーロッパ室内管弦楽団、ミュンヘン・バッハ管弦楽団、シュトゥットガルト・バッハコレギウム、ベルリン放送交響楽団など、数多くのオーケストラに客演。ヨーロッパ室内管弦楽団とは、クラウディオ・アバドの指揮で初の日本ツアーに同行。1987年帰国。同年第4回日本管打楽器コンクールオーボエ部門第1位入賞。札幌交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団の首席オーボエ奏者を歴任。読売日本交響楽団を退団した今も、数々の国内主要オーケストラ客員首席奏者として、また独奏者、室内楽奏者としても演奏を続けている。W.A.モーツァルト、R. シュトラウスのオーボエ協奏曲などを、読売日本交響楽団、札幌交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団などとたびたび共演。好評を博す。現在は桐朋学園大学音楽学部教授として後進の指導にあたり、また日本音楽コンクール運営委員、同コンクールオーボエ部門の審査幹事として、音楽教育の分野でも重責を担っている。岩崎勇、ギュンター・パッシンの各氏に師事。

ピアノ：城 真由（旧姓：水口）

Mayu Shiro , PIANO



札幌市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。第1回SHIGERU KAWAI国際ピアノコンクールセミファイナリスト。中村隆夫指揮・札幌シンフォニエッタ、現田茂夫指揮・札幌交響楽団と共演。平成29年度札幌市民芸術祭新人音楽会に出演。札幌市役所 市民ロビーコンサート出演。札幌コンサートホールKITARA 小ホールにてソロリサイタル、またトリオイリゼとしてピアノトリオのコンサートを開催《日本演奏連盟主催》。またこの時の演奏会評が音楽現代、音楽の友に掲載され、「存在感のある演奏」などと評された。北海道ショパンフェスティバルにてショパン バラード・スケルツォ全曲のリサイタル《日本ショパン協会北海道支部主催》、2024年1月にはオールフランスプログラムリサイタルを開催し、2024年音楽現代3月号にて「豊かな色彩感に満ちた幻想的なピアノの音色」と評された。その他多数ソロコンサート、アンサンブルコンサート出演。2023年第9回北の聲アート賞ビルダップ賞受賞。これまでにピアノを山岡望、植田克己、外山啓介の各氏に師事。現在、水口ピアノ教室にて後進の指導にあっている。また、カワイ音楽教室講師を経て、カワイ音楽教室にてアドバイザー兼ピアニストとしても活動。日本ショパン協会北海道支部、日本ピアノ教育連盟会員。